

# ペット同伴宿泊規約

御宿 河内家では、追加料金なしでペット同伴でのご利用・ご宿泊が可能ではありますが、同伴を想定した施設設備ではございません。

ご利用にあたっては下記の条件を厳守して頂きます。

ご宿泊中のペットに関するトラブル、事故などについては一切の責任を負いかねますので、お客様の責任において同伴でのご滞在をしていただくことをご了承ください。

## ■ 受け入れ対象

- 1) 宿泊可能なペットは「10kg以下の小型犬のみ」。宿泊者1組に対し2頭までとさせていただきます。
- 2) 日常室内で飼われている愛犬に限らせていただきます。
- 3) 発情期・生理中・妊娠状態では利用不可。
- 4) ノミ・ダニ・寄生虫などが駆除されていない場合は利用不可。
- 5) 盲導犬、介助犬は規制しておりません。
- 6) 生後1年以上でトイレのしつけが出来ていること。

## ■ 受け入れ基準

- 1) 宿泊前にシャンプー・グルーミングの実施をお願いいたします。

## ■ 外出時について

- 1) 室内に愛犬のみでのお留守番はお控えください。どうしても必要な場合はケージに入れお水とお食事をご用意ください。

## ■ 室内ルール

- 1) 1Fのみ(畳ルーム以外)のご利用に限らせて頂きます。(ペットは2Fへ連れて行かないようお願いいたします。)
- 2) 室内に入る前に足を拭いてからご入室ください。(濡れタオルなど事前のご用意をお願いいたします)
- 3) トイレのしつけがなされているようお願いいたします。
- 4) 室内の布団・浴室には入れさせないでください。
- 5) 備品は通常の予約人数分のみで愛犬用の食器、寝具、トイレ、タオル等のご用意はございませんので、日常ご使用のものを各種ご持参ください。
- 6) 緊急要救急薬はございません。また、動物病院等も近くにはございませんので予めご確認ください。
- 7) 室内でのブラッシングは禁止です。

## ■ チェックアウト時について

- 1) チェックアウトの前には簡単なローラー等で抜け毛を取り、トイレの始末など最低限なお掃除をしていただくようお願いいたします。
- 2) 万一、粗相があった場合は必ずご報告をお願いいたします。
- 3) 破損が発生した場合は、原則同伴者(宿泊者様)へご請求させていただきます。

■ その他注意事項

- 1) 宿泊施設付近での糞の放置は厳禁。山や草むらなどであっても糞はお持ち帰りください。
- 2) 当施設は愛犬をお預かりする施設ではございません。愛犬の管理は全て同伴者様の責任においてお願いいたします。
- 3) 不慮の事故・ケガ・病気・逃亡などになられても一切の補償を致しかねます。
- 4) スタッフの指示に従わない場合や同伴者・宿泊者様と連絡が取れない場合は愛犬をペットホテルに預ける、その他適切な処置をする権利を有します。また、その際の費用は全額お客様の負担となります。
- 5) 周辺住民やそのペット・家畜等に危害を加えた場合、その損害賠償及び治療費等をご請求させていただきますのでご了承ください。
- 6) 全ての責任は同伴者様・宿泊者様になります。ご注意ください。

ご署名もしくは承認のご返信を頂くことにより内容をご理解いただき、ご滞在中は必ずお守りいただくことに同意されたものとさせていただきます。

日付 年 月 日

お名前 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

持ち物チェックリスト

どこでも愛犬と楽しくご宿泊・ご旅行をするために  
準備しておくといよものをチェックリストにまとめました。

□ リード

大人しい子でも、環境が変わると何が起るかわかりません。散歩するときなどに必ず使用しましょう。

□ 迷子札

慣れない旅先では迷子になると探し出すのは大変。必ず首輪に連絡先などを書いた札を装着しておきましょう。

□ トイレグッズ

ビニール袋や新聞紙、ティッシュ、ウェットティッシュなどは多めに持参しましょう。散歩中などのトイレの後には持参したペットボトルなどで水をかけ匂いを洗い流しましょう。

□ トイレシート

施設内にはトイレシートを敷いてあげてください。粗相をしたときにも使えます。

□ ドッグフード

愛犬用の食事は手に入りにくかったりします。いつもの食事を用意しておくで安心。一回分ずつ小分けにしておくと便利です。全日程分を用意しておきましょう。

□ おやつ

いつもと違う環境でなかなか言うことをきいてくれなこともあります。そんなときの為に大好きなおやつを用意しておきましょう。

□ ケージ

万が一、そばを離れるときやドライブ中にはケージに入れましょう。思わぬ事故の予防になります。

□ 水

飲み水の他、トイレ処理にも使いますので出来るだけ多めに持っていきましょう。移動中のリフレッシュ時に外へ出たときなどにも使えます。

□ 足ふきタオル

車内や建物内に入れるときに使います。小型犬にはウェットティッシュでもよいでしょう。

□ 食器

慣れない旅先は意外なところで神経質になることもあります。普段の使い慣れた食器を持っていきましょう。旅行用に新しく用意するより安心できます。

□ 犬用ベッド・マット

旅先で一番にやってあげたいのは居場所を確保してあげること。使い慣れたベッドやマットを用意して、到着したらすぐに居場所を作って安心させてあげてください。

□ ブラシ

毛の長さに関係なく施設に入る前には、しっかり汚れや抜け毛を落としておくのがマナーです。

□ 抜け毛取り用ガムテープ

施設を出る際にはガムテープや粘着ローラーで抜け毛の掃除をしましょう。

□ 消臭グッズ

トイレの後始末や退室時の匂い消しに。

□ 新聞紙・キッチンペーパー

トイレ処理や汚れ防止にも重宝します。多めに持参しましょう。

□ ウェットティッシュ

足の汚れやヨダレ、落とした食べ物の掃除などに使えて便利です。

□ トイレトペーパー

トイレの処理や汚れふきなど何かと使えます。

□ タオル

雨に濡れた時や足ふき、粗相などいろいろな場面で重宝します。多めに用意しましょう。

□ シーツ

ソファやベッドを覆って目を離れたすきに飛び乗ってしまった際の汚れ防止に使いましょう。

□ ビニール袋

トイレ処理の必需品。汚れたタオルやペーパーなども入れるので大き目のものを多めに用意しましょう。

□ 雑巾

足跡や部屋の備品についた鼻の跡などを拭き取りましょう。

□ 常備薬

売っている店舗は旅先ではすぐには見つかりません。滞在期間分より少し多めに持っておくと安心です。

□ 移動中や現地の病院・かかりつけの病院の連絡先

滞在先や移動中に寄れる病院の連絡先や開いている時間は必ず事前に調べておきましょう。

□ 予防接種証明書

施設によっては提示を求められる場合もあります。事前に必ず用意しておきましょう。

□ 雨具

普段以上に体力を消耗しているうえに雨に濡れると、思わぬ病気に繋がります。雨具は必ず用意しておきましょう。